

学校だより「すくすく くすのき」5月号より

子どもたちの自立と共生をめざす学校教育目標「ふるさとを愛し、つながり合いながら、たくましく生きる阿武小っ子の育成」を達成するために、学校、家庭、地域が思いをひとつにしていきたいと思います。

学校教育目標

(共生) (自立)

「ふるさとを愛し、つながり合いながら、たくましく生きる
阿武小っ子の育成」

育てたい4つの心や力

「きづく」「きめる」「かかわる」「やりぬく」

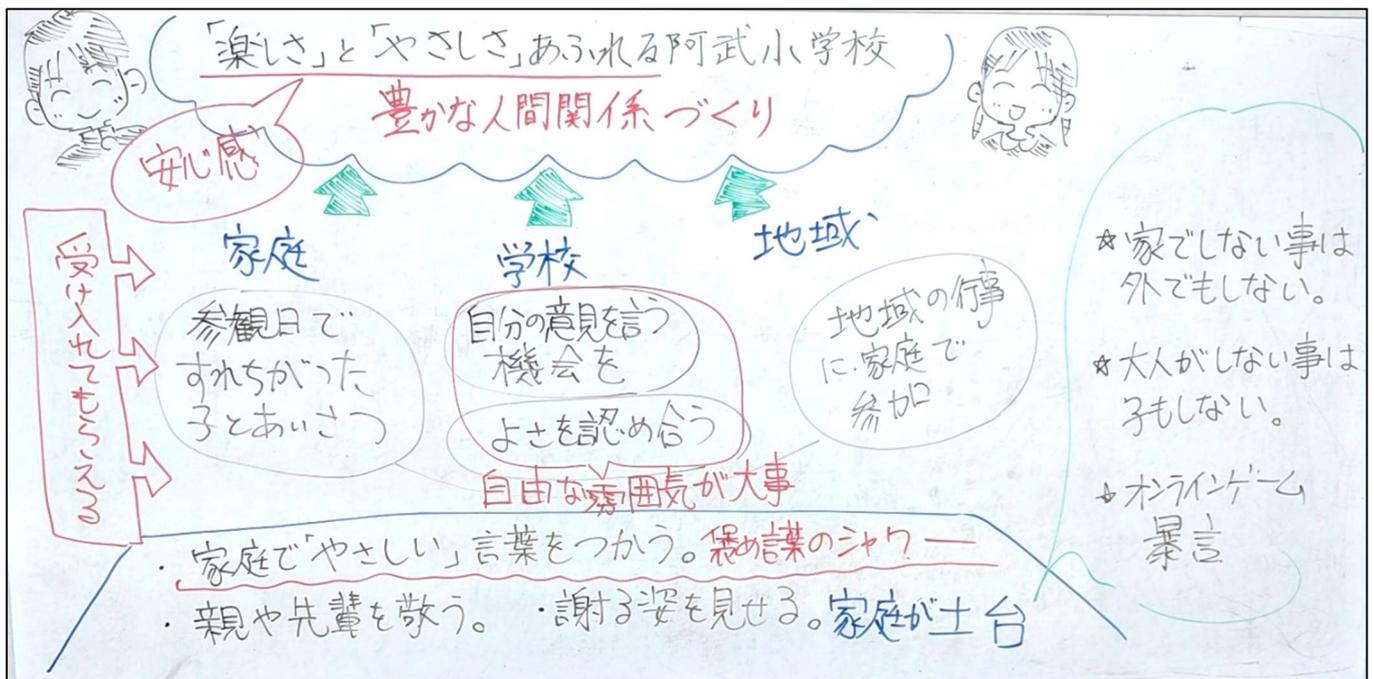
学校経営方針

ともにつくる
「楽しさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校

○ **最重点取組事項**

| | |
|----------------------------|--------------------|
| 学力向上に向けて、 分かる、できる授業づくりを | 温かい豊かな 人間関係づくりを |
|----------------------------|--------------------|

そこで、4月25日に行われた第1回学校運営協議会において、委員である保護者や地域住民の代表の方々と意見を交わす中で、学校経営方針（学校教育目標達成のための方向性）である、「楽しさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校をともにつくるために、それを支える「豊かな人間関係づくり」に取り組む上で大切にしたいことは何か、また学校、家庭、地域のそれぞれの立場で具体的に何ができそうか熟議をしました。そのとき出たご意見は、以下の写真のとおりです。



学級懇談会でも同じように、学校経営方針を念頭に、大切にしたいことや、できそうなことについて話し合っていたく時間をとっていただきました。短い時間ではありましたが、まず、保護者の皆様がお互いに思いや考えを出し合ったことがとても大切で、その中で、自分の子どもや阿武小の子どもたちを見つめ、皆さんでこれからの意識を高めていくキックオフの時間であったと思っていただければ幸いです。どのような話合いかなされたかについては、紙面の都合で次号の6月号にてお知らせいたします。

ともにつくろう 「楽しさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校

先月号でお伝えしたように、5月の参観日では、学級懇談会において保護者の皆様に、学校経営方針『ともにつくろう「楽しさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校』に向けて、大切にしたいことやご家庭でできそうなことについて話し合っていたく時間をとっていただきました。その話の一部を紹介します。

- ・「ありがとう」「ごめん」「おはよう」「おやすみ」を親が伝える姿を見せる。
- ・あいさつを大切に。大人からその姿を見せてよい雰囲気を感じさせる。子どもができたらほめる。
- ・言葉づかいに気を付ける。大人が子どものよい手本となる。
- ・ゲームのときこそ言葉づかいに気を付けるように決めて実行する。
- ・名前を呼ばれたら「はい。」と返事をさせる。
- ・子どもと話す時間をつくる。自分に不利益なことを教えてくれたときは「話してくれてありがとう。」と伝え、どうするとよいかいっしょに考える。
- ・家族でお互いのよいところを言い合う。兄弟で比べるのではなく本人をしっかりと見る。
- ・友達のよいところも話をするようにする。
- ・子どもとのスキンシップを大切に。「あなたは大切だよ。」などの心が満たされる言葉をかける。
- ・「相手の受け取り方は人によって違うよ。」「傷つくことはやめよう。」などの声かけをする。
- ・子どもがいろいろな大人と関わる機会をつくる。
- ・大人も楽しそうにしている姿を見せる。
- ・保護者や地域でつながって子どもの情報を共有できるようにする。
- ・子どものことを信じる。
- ・いけないことをしたときは家で厳しくする。(厳しく過ぎないことも大切)
- ・YouTubeやテレビのまねはダサいと伝える。



学校でも、学級ごとに子どもたちが、「きづく」「きめる」の心や力を働かせながら、大切にしたいことや目標をつくり、今、実践しているところです。

また、これまで教員が決めていたチャレンジ目標を今年は代表委員会で決めました。子ども主体の動きが始まっています。



学校経営方針

ともにつくろう
「楽しさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校

1年生
阿武小の元気な
ゆうびんやさん
みんなに、あい
さつ、返事、笑
顔を届けよう

2年生
いい言葉を
こだまさせよう
人を大切にする
気持ちを
こだまさせよう

3年生
やさしい心もち
自分でやりぬく
3年生

つばさ
ふわふわことば
の貯金箱

4年生
自律 協力 優しさ
元気あふれる
4年生

5年生
毎日笑顔で下学年に
高学年らしい姿を
見せよう
「やさしい言葉…」

6年生
輝く未来へ
羽ばたけ6年生
「和」

学校だより「すくすく くすのき」6月号より

菊池省三先生の飛び込み授業

菊池省三先生をお迎えし、阿武小5・6年生と福賀小6年生、そして阿武中の全生徒を対象に、小中合同の飛び込み授業をしていただきました。菊池先生は、元小学校教師であり、長年にわたる学校現場に即した実践をもとに、ご退職後は教員の学びの場を主宰したり全国で飛び込み授業や講演活動等をされたりしながら、これまでたくさんのテレビ番組にご出演されていらっしゃいます。

授業のテーマは「ワードセンス」についてです。これが何なのか…、子どもたちは、提示される写真などをもとに中学生とも意見交換しながら考えることを積み重ね、たった1時間でしたが、人とコミュニケーションをとる際に自分の発語を吟味する「ワードセンス」がいかに大切かを学ぶことができました。そもそも菊池先生がすばらしい「ワードセンス」をお持ちで、その言葉を、温かくユーモアあふれる雰囲気とともに児童生徒に語りかけておられました。子どもたちに関わる我々大人も「ワードセンス」を磨き、コミュニケーションの力を付けなければならないと思いました。

今年度、本校は、『ともにつくりよう「楽しさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校』を旗印に、温かい豊かな人間関係をつくることを最重点の1つとして取り組むことにしています。5・6年生が、今日の学びを生かして、その空気を学校全体につくってほしいと願ってやみません。



学校だより「すくすく くすのき」11月号より

最重点取組2 ～ 温かい豊かな人間関係づくりを進める ～

10月17日に人権教育参観日と教育講演会を行いました。ご多用の中、参観して下さった保護者、そして地域の皆様、ありがとうございました。保護者アンケートにご記入いただいたものをご紹介します。

日頃から意識して「やさしい言葉かけ」「自分からあいさつ」「相手を見て返事をする」を伝えています。

人の立場になって考えることがまだ身に付いていないと思っているので、「友達はどう思っている（感じている）？」と聞くことがよくあります。まだまだ未熟ながらも、その子らしい考えをもってほしいですし、伸びてほしいと思っています。これからも、しっかり声をかけ、見守っていきたいと思います。

人それぞれいろいろな考えがあるということを子どもなりに理解してくれていると思います。

違う考え方の人がいても、そういう考えの人もあるんだと受け入れることも大事だと話しています。

外国の人や障がいがある人、自分と違って見えても、みんな大切な一人の人なんだよと教えています。

子どもから「いやなことをされた」と話があったときは、まず「なんでその子はそんなことをしたのか」次に「どうすればよかったのか」を子どもと話して、次にその子と会ったときに、どう行動すればよいか話し合っています。

遊びの中でけんかなどのトラブルが起きて家で話してくれるとき、「どう思った」「どうすればよかった」を一緒に考えたり家族で話したりしています。

学校での様子を聞くことをきっかけに子どもの気持ちを引き出して、気になる様子にはアドバイスをしています。

やっていいことと悪いことは一緒に考えながら伝えているつもりです。その都度、確認をしています。

人権について考える絵本の読み聞かせをして、子どもに感想を聞き、親としての意見を伝えています。

みんなと仲良くして、仲間外れやいじめはしないように伝えています。いじめの問題が起きたときは、正しく接することができるように声かけをしています。

「人のことを思いやれる人になろう」「友達がまちがったことをしていたら教えてあげる人になれるといいね」「学校の集団生活は、人との関わりや付き合い方を学ぶ場でもあるんだよ」と伝えています。

自分がされていやなことは相手にしてはいけないと話しています。

見ているだけもいじめの一つ。自分で止められないなら親や先生に助けを求めること。相手の気持ちを考えること。相手からちょっかいをだされても、自分がやり返したら同等、もしくはそれ以下ということ。

力が湧いてくるお言葉をたくさんいただきました。本当にありがとうございました。

今年は、「楽しさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校をともにつくっていくことをめざしています。学校だけが取り組んでいるわけではないんだと思い、とても心強くなりました。

・・・わたしたちは、お互いに支え合いながら生きています。だからこそ、今の自分がいると思います。そんな自分が、身近な相手に対してできることは何でしょうか。

「認めること」「大切にすること」「心配すること」「感謝すること」「相手の思いを聞くこと」そんな気持ちを言葉にのせて、かわり合い、伝え合っていくことが大事ではないでしょうか。子どもたちに、「共生」の思いを育みたい、そう願って止みません。



今、「イキイキ☆レインボー週間」です。保護者の皆様からのお子様に向けてのメッセージは、子どもたちの豊かな心やセルフイメージ（自分を大切に思う気持ち）を育て高めます。子どもたちにとって、保護者の皆様のあたたかいまなざしや声かけが何より大切です。（11月11日付け 保健室からの文書より）